

興和不動産株式会社に対する大型シンジケート・ローンを組成

～ 非上場企業グループに対する本格的シンジケート・ローンで最大級の組成金額を実現 ～

1. みずほコーポレート銀行はアレンジャーとして興和不動産株式会社（以下「興和不動産」）に対するシンジケーション方式のタームローンを組成しました。本シンジケーション方式のタームローンには、みずほコーポレート銀行の他、都市銀行、信託銀行、地方銀行、生命保険、損害保険の 40 金融機関が参加し、総額 459 億円の契約となりました。
みずほコーポレート銀行は平成 17 年 9 月にもアレンジャーとして興和不動産の子会社興和品川開発株式会社に対し、48 金融機関の参加による 492 億円のシンジケーション方式のタームローンを組成しており、平成 17 年度における 2 社に対するアレンジ額は 951 億円となり非上場企業グループに対する本格的シンジケーション方式のタームローンとしては最大級の組成金額となりました。
2. 興和不動産は、昭和 27 年の創業以来、主力事業として、東京都心 3 区のプライムエリア中心に位置し高い競争力を備えたオフィスビルや、国内外の VIP に対する高級賃貸マンション「ホームマツ」の賃貸・管理事業のほか、マンション分譲事業、戸建分譲事業、コンサルティング事業、さらにはグループ会社におけるビル・マンション管理事業等へと幅広く展開し、総合ディベロッパーとして成長してきました。平成 16 年 9 月には、「事業の選択と集中」を目的として、会社分割による事業再編成を実施し、財務体質も大幅に改善され、新生興和不動産として、新たにスタートしております。
3. 今次シンジケートローンは、最適ファイナンス構成を志向する当社財務戦略に沿うものであり、安定的な資金調達基盤の構築、無担保借入の拡大、金利負担の削減等を実現することになりました。併せて、平成 17 年 12 月には格付投資情報センター（R&I）より BBB の格付も取得しております。
4. みずほコーポレート銀行は、こうしたシンジケートローンのアレンジを通じて、お客様の多様な資金調達ニーズにお応えするとともに、シンジケートローンマーケットの育成・規模拡大を通じて、企業の資金調達の多様化、コスト削減に貢献していく方針です。

【案件の概要】

組成金額：459 億円

契約日：平成 18 年 3 月 24 日

実行日：平成 18 年 3 月 29 日

期間：3 年、5 年

保全：無担保、無保証

アレンジャー：みずほコーポレート銀行

参加行：都市銀行、信託銀行、地銀、生命保険、損害保険、計 40 行

格付投資情報センターより発行体格付 BBB 取得（平成 17 年 12 月 12 日）

以 上